

1泊2日

くりはら産業遺産に ふれる旅コース



1日目

見学



細倉マイパーク

昭和62年に閉山された旧細倉鉱山の坑道跡を歩きながら近代鉱山の歴史を学べるテーマパークです。観光坑道では、再現された当時の作業光景を見学できます。砂金採り体験や屋外の555メートルあるスライダーパークも人気です。

- 大人500円 中高生400円 小学生300円
- ※砂金採り体験、スライダーパークの料金は別途
- 3月1日～11月30日 9:30～17:00 12月1日～2月末日 9:30～16:00
- 休 火曜日(祝日の場合は翌日) 12月31日～1月3日
- ※GW、夏休み期間は休まず営業
- ☎0228-55-3215 栗原市鶯沢南郷柳沢2-3



細倉鉱山資料展示室

1200年前に発見され、日本有数の鉛、亜鉛の産出量を誇った細倉鉱山に関する資料や実際に使っていた道具や古文書のほか、当時の街並みを再現したジオラマなどが展示されています。(入場料 無料)

- 3月1日～11月30日 9:30～17:00
- 12月1日～2月末日 9:30～16:00
- 休 火曜日(祝日の場合は翌日) 12月31日～1月3日
- ※GW、夏休み期間は休まず営業
- ☎0228-55-3215 栗原市鶯沢南郷柳沢2-3

1日目

お食事



食事処だるま屋



約0.9km
約2分

映画「東京タワー オカンとボクと、時々、オトン」で、定食屋のシーンを撮影したラーメン店です。店内には、撮影当時の写真も飾られています。

- 11:00～18:00 休 不定休
- ☎0228-55-2606
- 栗原市鶯沢南郷北沢50-10

市内泊

※「農家民宿・民泊」をご参照ください。

2日目

お食事・お土産



わかやなぎ農産物直売所 くりでん(昼食)

くりはら田園鉄道公園のすぐ隣にある直売所です。生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜をはじめ、手作りお総菜、つきたてのお餅、焼きたてパン、工芸品、花などが豊富に並び、三工房の商品はすべて手作りで、軽食コーナーでははっと汁も味わえます。

- 9:00～17:30
- 休 1月1日から1月3日
- ☎0228-32-7707
- 栗原市若柳字川北塚ノ根27-1

2日目

体験



ミニ畳づくり (只見工業所)

約0.8km
約10分

創業天保7年、約185年続く老舗の畳店でミニ畳づくりを体験。お好みの縁(へり)で自分だけのミニ畳を作ってみよう!

- 料 3,000円
- 時 10:00～16:00
- 休 日曜日(要相談で受入可)、年末年始
- ☎0228-32-3356
- 栗原市若柳字川北片町54

2日目

見学



若柳地織 はたや

約0.5km
約7分

若柳地織は、明治から大正にかけて盛んに製造された綿織物で、紺色と縦縞が特徴。綿織物独特の素朴な肌触りで、県指定伝統工芸品にも指定されています。ジャケットやネクタイ、名刺入れ等の小物類など。肌触りのよいマスクもオススメです。1915年にトヨタの創設者、豊田佐吉翁が発明した「豊田式鉄製小幅動力織機(Y式)」が現在も使用されています。

- 9:00～17:00 (工場見学は要予約)
- 休 不定休
- ☎0228-32-3087
- 栗原市若柳字川北塚ノ根12

2日目

見学



くりはら田園鉄道公園 くりでんミュージアム

約0.2km
約5分

「くりでんミュージアム」では、平成19年に惜しまれながら廃線となった旧くりはら田園鉄道の実物車両や車庫、貴重な資料などが展示され、くりでんの歴史を楽しく学べます。くりでん模型が走るジオラマや実際の運転台を使った運転シミュレーターなど、見て・触れて・体験できます。公園内の「旧若柳駅」は懐かしい駅舎とホームが保存され、活躍した車両も勢ぞろい。動態保存の気動車やレールバイクの乗車イベント等も開催されています。

- 料 一般 500円 小中学生 300円 未就学児 無料
- ※年間パスポートあり
- 時 10:00～17:00 (入館受付は16:00まで)
- 休 火曜日、年末年始
- ☎0228-24-7961 栗原市若柳字川北塚ノ根17-1

立ち寄り

スポット



若柳商店街

くりでんミュージアムから一足伸ばしたところの商店街には、栗原市出身の有名人のご実家の文具店や老舗の菓子店、レトロな雰囲気の喫茶店、お惣菜が人気のお肉屋さんなど、地元で永年愛されてきた個性的なお店が並んでいます。



便利な「若柳商店街マップ」を活用して、お気に入りのお店を見つけよう!
「若柳商店街マップ」は、「くりでんミュージアム」や「わかやなぎ農産物直売所くりでん」に置いてあります。

細倉鉱山関連遺産 (近代化産業遺産)

細倉マイパーク周辺では、廃線となったくりはら田園鉄道の終点「旧細倉マイパーク前駅」や「細倉山神社」など、往時の鉱山の面影がみられます。

